



シニアルーム

シニア世代向け情報
※市からの連絡帳も
ご覧ください。

介護マークを配布します ～介護する人にやさしい社会へ～

介護マークは、介護していることが分かりにくい認知症の方などに付き添う家族などが、周囲から誤解を受けることのないよう、国が全国的に普及を図っているものです。
今回、介護する人が外出時に身に付ける介護マークを10月1日(月)から配布します。駅のトイレでの介護など、外出先で利用してください。
市内に住所がある方の介護者で、介護マークの使用を希望する方

申請書の記入が必要です。直接下記へお越しください。
配布場所 高齢者支援課(保谷保健福祉総合センター1階・田無庁舎1階)
高齢者支援課(☎042-438-4032)



家族介護慰労金を支給

介護保険で要介護4または5と認定され、過去1年間に介護保険サービスを受けていない在宅の高齢者を介護している同居家族の身体的・精神的および経済的負担を減らし、在宅生活の継続と向上のために、家族介護慰労金を支給します。
支給額 年額10万円
申請 10月1日(月)～31日(水)に、介護保険被保険者証・印鑑・金融機関の口座がわかるもの(郵便局を除く)を持参し、高齢者支援課(保谷保健福祉総合センター1階、田無庁舎1階)へ。
右表の要件を全て満たしている市内に住所を有する65歳以上の高齢者を介護し、過去1年以上、市民税非課税世帯に属する介護者

申請の属する月の前月末日を基準にして

過去1年以上	①要介護4または5と認定されている高齢者 ②市民税非課税世帯に属する高齢者 ③介護保険サービスを利用していない高齢者(年間7日間までのショートステイ利用は除く)
過去1年間	④介護保険施設以外の病院などに90日以上長期入院をしていない高齢者

高齢者支援課(☎042-438-4028)

「介護の日」イベントで「介護川柳」を募集

11月11日の「介護の日」にちなみ、11月12日(月)にアスタセンターコート(田無駅北口)でイベントを行います。
イベントの一つとして「介護川柳」を募集し、応募作品の中から選ばれた川柳を、当日会場に掲示させていただきます。
応募方法 介護に関する出来事、思うことなどの川柳を応募用紙(はがきも可)に記載し、氏名(川柳と共に公表。ニックネーム可)を明記して、10月19日(金)消印有効までに、〒202-8555市役所高齢者支援課「介護の日」担当へ郵送または高齢者支援課(保谷保健福祉総合センター1階・田無庁舎1階)へ直接持参

(ファクス可)。
※応募用紙は高齢者支援課・市内地域包括支援センター・福祉会館などで配布。市HPからもダウンロード可。
※応募作品は、「介護の日」イベント以降も市HPなどで掲載する場合があります。作品は返却しません。選考結果の発表は、当日の掲示をもって代えさせていただきます。
※イベントの詳細は市報10月15日号でご案内する予定です。
高齢者支援課(☎042-438-4032・FAX042-438-2024)

認知症を知る1カ月キャンペーン

市では、10月の1カ月間を「認知症を知るキャンペーン期間」として位置づけ、認知症についての普及啓発活動を展開します。
キャンペーンの一環として下記のイベントを開催しますので、ぜひご参加ください。
高齢者支援課(☎042-438-4102)

講演会

「～知ろう・学ぼう・考えよう～ 若年性認知症のこと」
時 11月2日(金)午後1時30分～4時30分(午後1時開場)
場 西東京市民会館
内 若年性認知症の基礎知識、若年性認知症家族のメッセージ(予定)
定 500人(先着順)
講 駒井由起子さん(東京都若年性認知症総合支援センター センター長)
申 当日、直接会場へ。

脳いきいきウォーキング

市内から小金井公園まで約5kmウォーキングします。
時 10月22日(月)午前10時～正午
コース 田無庁舎～小金井公園(現地解散)
対・定 満60歳以上の方・50人
申 往復はがきに、住所・氏名・年齢・電話番号を明記し、10月9日(火)消印有効までに、〒202-8555市役所高齢者支援課生きがい推進係「脳いきいきウォーキング」担当へ郵送(申込多数の場合は抽選)。
※参加者全員に景品をプレゼント



認知症についてのパネル展示

時・場 ①10月2日(火)～9日(火)・保谷庁舎1階
②10月15日(月)～22日(日)・田無庁舎2階
③10月1日(月)～31日(水)・市内8カ所の地域包括支援センター
※日曜日・祝日を除く(①・②は土曜日除く)

認知症サポーター養成講座

認知症サポーターとは、認知症を正しく理解し、地域で生活している認知症の方や家族を見守り、自分でできる範囲で支援する方のことです。
認知症とは何か、基本的なところから学んでみませんか。
時 10月30日(火)午後2時～3時30分(午後1時40分開場)
場 ひばりが丘公民館
内 ①認知症について ②認知症サポーター100万人キャラバンについて ③認知症の方を地域で支えるためには
対・定 市内在住・在勤で、当講座を受講したことがない方・50人(申込順)
申 10月23日(火)までに、電話で申し込み。
※参加者にはサポーターの証しであるオレンジリングを差し上げます。
※5人以上集まれば、出張講座をします。



第12回西東京市消費生活展

あしたのために考えよう... 私たちの暮らし

時 10月19日(金)・20日(土)午前10時～午後4時30分(最終日は4時まで)
場 消費者センター
内 ※参加団体によるパネル展示
※地粉・地場野菜で作る「だんご汁」試食(各日限定200食 ※無料)
※省エネグッズ「鍋帽子をつくらう」講習会(各日先着10人 ※実費負担あり)
※おちゃわんリサイクル(割れたり不要となったちゃわん・皿などを回収)
※消費生活相談(19日のみ)
※地産地育のとれたて地場野菜の販売

鍋帽子

※講演と映画上映会
時 10月11日(休)午後1時30分～4時
場 コール田無
内 映画「内部被ばくを生き抜く」上映、同映画を監督した鎌仲ひとみさんの講演
定 180人(先着順)
申 当日、直接会場へ。
◇保育 生後6カ月以上の未就学児・6人(申込順)。消費者センターへ電話で申し込み。
□企画・運営 第12回西東京市消費生活展実行委員会
◆消費者センター(☎042-425-4141)

消費生活講座 化粧品 どうやって選んでいますか?

乾燥が気になる季節を前に、たくさんの乾燥対策の化粧品が店頭に並び始めています。自分の肌に合った化粧品の見つけ方、商品の特徴の見極め方など、賢い消費者として化粧品と上手に付き合うためのヒントを聞いてみませんか。
※座学のみ。メイク実習などは行いません。

時 10月31日(水)午前10時～正午
場 西東京市民会館
定 50人(申込順)
講 飯田優子さん(日本化粧品工業連合会 広報委員会)
申 電話・ファクス・Eメールで、件名を「化粧品講座」とし、住所・氏名・日中連絡がつく電話番号を明記して、10月25日(木)までに消費者センターへ。
◆消費者センター(☎042-425-4141・FAX042-425-4041・✉kyoudou@city.nishitokyo.lg.jp)

